

2025 年 3 月 28 日

入船の森保育園園長 石井千枝子

## 2024 年（令和 6 年度） 入船の森保育園自己評価

2023 年（令和 5）年度の自己評価で行っていた各クラスのデイリープログラムの見直しを 2024（令和 6）年度も継続し、職員全員ですすめていきましたが、年度途中で、乳児・幼児のデイリープログラムだけでなく、職員がシフトで勤務する土曜日のデイリープログラムも見直していきました。各種のデイリープログラムの確認をしたことで、必要な業務内容を知る。また、業務内容を明確にし、職員間で共有することを目的としておこないました。

### 【取り組み】

#### 『乳児クラスのデイリープログラム』

- 気づきがある時はミーティングにて意見交換をし、共有を図りながら、表を完成する。
- 新採用職員は、サブの業務をしていたが、実務を積んだ所で、リーダーのローテーションに入る。
- R 7 年 2 月職員会議にて全職員で検証をする。

#### 『幼児クラスのデイリープログラム』

- 5 月職員会議にて全職員で作成について検討。
- 気づきがある時はミーティングにて意見交換をし、共有を図る。
- R 7 年 2 月職員会議にて全職員で検証をする。

#### 『土曜日のデイリープログラム』

- 土曜日は平日と違うシフト勤務のため、業務の共有と平等な作業をしていく必要があるとの意見があがり、主任を中心に皆で付箋を利用し、タイムスケジュールに行うべき業務を張り付けて表をつくる。土曜日出勤時は表を見ながら進めていく。
  - 気づきがある時はミーティングにて意見交換をし、共有を図る。
  - R 7 年 2 月職員会議にて全職員で検証
    - ・掃除機の内装を加える等、実践からの意見を取り入れる。
    - ・土曜日に行っていた作業をやり切れないため、平日に回す作業も出てくる。
- （土曜日にまとまった時間をとれることで、書類関係の業務をこなすことができる）

### 【振り返り】

昨年度より継続している自己評価のテーマ『デイリープログラム』は、乳児クラスだけでなく、幼児クラス、土曜日保育と広がり、職員間で必要な業務を確認し、業務内容を明確にしていきました。年度末の検証する会議では「話し合って決定した内容を書面にしたことで、分かりやすく動けるようになった」という意見の反面、「一定の職員のみが掃除等をしている」等の意見も出ました。

今年度の振り返りから、職員一人ひとりが「今、職員が取り組むべき事案は何か」を付箋に記載し、KJ 法で図式化してみました。職員が作り上げた図の中心は、『安全・安心保育』。その『安全・安心保育』を今年度のテーマとし、そこから枝分かれした項目（食育・環境等）の担当を決めて、その分野の『安全・安心保育』に取り組むことになりました。R 7 年度は、各担当者の進行情報を定期的に会議で伝え、全職員で共有・検証し、図の中心である全ての『安全・安心保育』に繋がることを目指していきます。